

コード	402070603
記入日	H26.11.4

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	犬塚 忠生

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	全国椿サミット開催事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 29 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目コード	2
事務事業コード	4020706	事務事業名称	林業振興事業費	細目コード	1038
関連計画	新上五島町つばき産業振興計画 椿による五島列島活性化特区		法令・条例規則等	森林法、ふるさとの森林づくり事業実施要領	

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 町民及びイベント参加者 (対象2)	(対象指標1) 不特定 (対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・平成30年3月開催予定の全国42市町村が加盟する全国椿サミットに向け、島内の椿林整備と施設整備を実施し、且つ町民の意識向上を図り、全国から500名の椿関係者が集う大会で椿の島としてのPRを行う。 →周辺整備（旅行村6ha、鯨見山6ha） →沿道椿整備（北魚目半島20ha） →津和崎公園整備（歩道L=800m、下刈6ha、ウッドデッキ整備150㎡、トイレ1棟） →龍観山整備（椿林3ha、展望台改良25㎡）	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 椿林整備	123ha	-	平成29年度
	② 施設整備	3箇所	-	平成29年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・ツバキ・サザンカを市町村の花木に指定している自治体関係者及び日本ツバキ協会会員並びに、全国のツバキ愛好家が一堂に集い、相互の情報交換と交流を通じて地域の活性化に資することを目的に、相互の情報交換と交流を通じて地域の活性化を促進する。	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 大会参加人数	500人	目標参加者数	平成29年度
	② 大会宿泊者数	300人	目標宿泊者数	平成29年度

実施 (DO)

	単位	全体計画		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 27 ~	H 29							
活動指標	① ha	123			41	41	41			
	② 箇所	3				2	1			
成果指標	① 人	500					500			
	② 人	300					300			
総事業費 C (A+B)	千円	87,750		17,250	42,250	28,250				
直接事業費 A	千円	66,750		10,250	35,250	21,250				
人件費 B	千円	21,000		7,000	7,000	7,000				
内訳	従事職員数	人	3.0		1.0	1.0	1.0			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	2,100			2,100				
	起債	千円								
	その他	千円	64,650		10,250	33,150	21,250			
一般財源	千円	21,000		7,000	7,000	7,000				

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	日本ツバキ協会やツバキを指定花木とする市町村との交流、椿に関する情報取得により、椿の島のイメージが定着し、観光客に対して椿の島としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	全国椿サミット大会を開催することにより、本町の認知度が高まり、観光客の増加や産業の振興につなげていくが目的の事業であることから対象・目的は妥当である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	全国に発信し、あわせて椿を活かしたまちづくりに結び付けるため必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	すでに、全国椿サミット協議会において本町での開催が内定しているため、事業をやめることができない。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	椿林整備や施設整備はサミット大会準備委員会作業部会で現地調査の結果出てきた事業であり、最小限の費用で最大の効果が上がるものである。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	椿に関する全国発信事業は当事業のみである。

2次評価	全国の取り組みを参考として、町民の生活の至る所で椿が自然と存在するようソフト・ハードの整備を行い、全国椿サミット開催まで町全体の機運を高めるよう積極的に取り組むこと。
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。